

看護小規模多機能施設あいが開設します

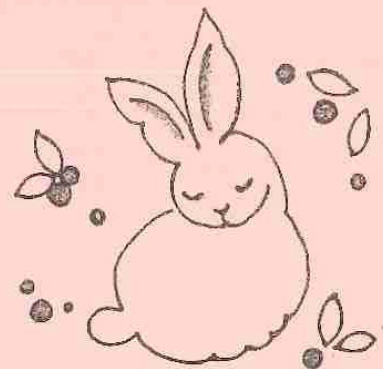
堀ノ内病院 堀越洋一

新座市では初の看護小規模多機能施設(略称:看多機)あいが5月に開設します。これはデイサービス・ショートステイ・訪問介護・訪問看護が一体化した複合型のサービスです。人生の最期まで可能な限り日常に近い時間を作り出すことこそ介護職の役割ととらえて、その豊富な経験を有するえんと堀ノ内病院が連携して新しい地域密着型のサービスを実現していきます。

気をつけて生活していても、肺炎や骨折等で突然に入院することが避けられない時もあります。そして数週間ベッド上で過ごしていたために、がくんと日常生活でできないことが増えてしまうことがあります。そうした場合、病院から自宅に退院しても、どんなふうに住生活できるのだろうか、それを支える介護ができるのだろうかという不安を本人やご家族が感じることは多々あります。看多機あいのスタッフは全力でそうしたご家庭を支えます。

人生の最期を住み慣れた自宅で過ごし全うしたいという望みを抱いている方は多くいらっしゃいます。人生の終末期にあっては、さまざまな苦痛の緩和がとても大切になってきます。患者が抱える全人的苦痛を軽減することができれば、本人だけでなく、ご家族の不安も少なくなり、最後まで家庭で過ごすことが実現しやすくなります。実は本人は自宅での最期を望んでいるにもかかわらず、入院しなければならない事情の多くは、介護する方の不安です。死にゆく人の傍に居続けるストレスや恐れは、分かち合ってくれる人がいることで軽減され乗り越えやすくなります。看多機あいはそうしたご希望に添えるように、心を尽くしてご家庭で過ごせる支援をします。

新座市南部の地域において、中核医療施設である堀ノ内病院と介護の包括的な事業所であるえんが連携することで地域住民のいっそうの安心をもたらすこと、それが今回の看護小規模多機能施設あいのめざすところでもあります。



イラスト/寺山寿子